

# 西条昌良

NEWS  
2008

西条昌良後援会

- 事務所 ● 神栖市土合北2-11-13
- TEL ● 0479(48)0073
- HP ● <http://www.saijomasayoshi.com/>
- 発行 ● 平成20年1月13日



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

景気拡大が戦後最長の「いざなぎ景気」を超え、首都圏を中心に好景気と言われておりますが、地方経済はいまだその実感に乏しく、本格的な人口減少社会と超高齢化社会が刻々と迫っています。

昨年を振り返ってみますと、相次ぐ食品偽装・耐震偽装・年金記録問題の中で、2007年の世相を表す今年の漢字には「いつわる」を表す「偽」が選ばれました。今年は「偽」の世相を払拭し「真」の年にするために、われわれ政治・行政に関わる一人ひとりが高い倫理観と使命感を持ってみずからを律しながらその職責を果たしていくことが必要だと感じています。

昨年12月に鹿島コンビナートでのプラント火災が発生し、尊い命が奪われました。このような悲惨な事故が起こらないように、安全・安心な都市づくりのための総点検の時期にさしかかっている事を実感しています。

神栖市の誕生からまもなく3年を迎えますが、鹿島開発によって築かれた経済基盤を合併によって高め、潤いと真の豊かさを感じられる郷土を皆さんと共につくることが私の使命であります。

今年も「<sup>おこ</sup>驕らず、恐れず、迷わず」の信念を持って、県政の場でふるさとの未来のために精一杯がんばりますので、皆様のさらなるご指導・ご支援を心からお願い申し上げます。新春のご挨拶といたします。



# 平成19年 第一回定例会 保健福祉委員会

〔平成19年第一回定例会保健福祉委員会質疑（抜粋）〕

西条昌良は、県内・鹿行地域でも深刻化する医師不足の解消、介護職員の不足問題などについて、地元の声を訴えました。

## 【医師不足解消】

■西条県議 医師不足の解消問題について伺います。茨城県に於いても医師不足による医療サービスの格差、福祉サービスの格差など「南北格差の是正」が課題です。真の豊かさを実感できるためには、医療・保健・福祉の充実が求められています。県内の公立病院数はどれくらいあるのでしょうか。

◎厚生総務課長 国立が5、県立が6、市町村立が7、その他の公立病院が12あります。

■西条県議 人口10万人当たりの全国平均の医師数、茨城県の平均数、県北と鹿行南部地域の人口10万人当たりの医師数を教えていただきたい。

◎医療対策課長 全国平均

が211人、茨城県全体では150人、常陸太田・ひたちなか医療圏が85人、鹿行医療圏が89人で

## ■西条県議

この数字を見ても、茨城県は全国から見ても、鹿行南部地域の医師が少ないことが明らか。我々の神栖市などは典型的な県境地域であり、茨城県が他県に依存しているところもあります。県境の医療対応をどのよう

## ◎医療対策課長

県内で賄えることが基本だが、鹿行南部などは千葉県に隣接している状況。鹿行南部で不足している診療科目については、他県の医療機関に頼らざるを得ないので、必要に応じて他県との協議を進めていきたい。

## ■西条県議

鹿嶋から旧波崎までの地域は、千葉県の旭中央病院に依存しているケースが非常に多い。特に小児科などは地元の医師不足の中で依存している。ところが

旭中央病院でも地元を優先しており、やはり自分たちの県でできることは最小限やっつけていかないと困る。県境での協議についてはどのような認識されているのでしょうか。

## ◎医療対策課長

鹿嶋市・神栖市の小児体制が整うまでの間は、旭中央病院に頼らざるを得ないが、できるだけ受け入れてもらえるような対策について協議を進めていきたい。

## ■西条県議

旧波崎済生会病院が神栖に移転した際、私は医療の大切さを実感しました。旧波崎に診療所の形で再開されホッとしますが、高齢になればなるほど健康への不安が増していくものです。医療は経営なくしては成り立たないが、「医は仁術」、医師は人を救う職業だという考え方を医師に呼び起こすことも必要ではないかと思えます。医師不足解消に県の総力を挙げて取り組んでいただきたい。

## 【介護職員の不足】

## ■西条県議

高齢化対策について、特に介護職員の不足問題について伺います。具体的にこれから、在宅介護と施設

介護のどちらを中心にしていくのか伺います。

## ◎高齢福祉課長

国の方向は在宅介護ですが、一つは地域密着型の介護というパターンが現れてきました。一つは在宅の流れの中での家族の介護、もう一つは要介護状態にならないよう介護予防に力を入れています。

## ■西条県議

子供たちと一緒に住まない高齢者が増え、将来を悲観して子供に迷惑をかけられないので自殺してしまう老夫婦が毎日のように報道されています。高齢者の介護に付随した職員が必要になってくるわけですが、介護職員は現在の段階で足りているのでしょうか。長期的に確保できるのか伺います。

## ◎高齢福祉課長

ホームヘルパーは平成18年度2月末で6万1000人いますが、全体の需給関係はかなり逼迫していると聞いています。

## ■西条県議

理想的なものに入る前に現在の施設を充実させるべきであると思えます。職員不足の解消とともに、施設をいかに充実させるかが大切。

東京・埼玉・神奈川・千葉などの施設はほぼ満足してい

ると言われていますが、茨城県の場合はまだまだ。今後、県としてどのように取り組み、施設を満たしていくのでしょうか。

## ◎高齢福祉課長

特別養護老人ホームでは、平成18年度末で161施設9624床。当面の目標は、平成20年度末で1万1133床。

## ■西条県議

福祉施設の正職員と非正規職員の格差がかなりあるようです。介護の部署によっても非正規職員の時給が違う。訪問介護センターでは1100円以上と言われ、特老では750円、900円。時給の高いところに職員が集まり、施設として必要なところが足りない。このアンバランスをどのように捉えているのでしょうか。

## ◎高齢福祉課長

なぜそんなに差がついてきているのかをよく調べ、国に制度改正の要望をしたい。

## ■西条県議

入居している人がいる以上、職員がいなくなってしまうたでは済まされない。将来の高齢化社会に迅速に対応できるようにするためにも、賃金の格差を埋める仕組みづくりに努力していきたい。



# 茨城県の財政危機だ!!

財政再建等調査特別委員会副委員長として活躍

茨城県の財政は、三位一体の改革による地方交付税の大幅な削減により、一般財源総額が大きく減少し、平成19年4月か



らは職員給与の削減措置を講じるなど、未曾有の財政危機に瀕している。一方、少子高齢化社会の進展や医師不足問題、南北格差是正への対応など行政需要が多様化しているなかで、本県が激化する地域間競争に打ち勝ち、活力ある発展を遂げていくためには、県民ニーズを的確に捉え、迅速に施策展開するための財源や組織体制が必要である。

そこで県議会は、持続可能で健全な財政構造を確立するため、歳入歳出全般にわたる徹底した見直しや、簡素で効率的な運営ができるような行政組織体制の見直しなど所要の調査を行う。財政再建等調査特別委員会を設け西条県議は副委員長として財政再建に繋がる提言をしている。以下財政再建等調査特別委員会の審議内容を抜粋してみました。

- 6月11日
  - 第二期地方分権改革の推進を求める意見書案の検討
- 6月14日
  - 土木事務所、審議会・懇談会等の見直し
  - 本県財政構造の分析、県単補助金の縮減、公債費負担の抑制等
- 7月4日
  - 人件費の抑制、県立病院改革
  - 保有土地の処分策（県住宅供給公社、県土地開発公社、県開発公社等）
- 7月30日
  - 地方総合事務所、農業関係出先機関、審議会・懇談会等
  - 徴収率の状況等、委託料の見直し、基金の見直し
- 9月4日
  - 地方総合事務所、農業関係出先機関、教育組織の見直し
- 9月26日
  - 特別会計の見直し（病院事業会計、競輪事業特別会計等）
  - 県税事務所改革、保健所改革、土木事務所改革
- 10月22日
  - 特別会計の見直し（市町村振興資金特別会計、中小企業事業資金特別会計、農業改良資金特別会計等）
  - 出資団体等への財政支援の見直し
  - 徴収率による県単補助金削減など
- 11月22日
  - 論点整理
  - 地方総合事務所、県税事務所等出先機関改革
- 12月14日
  - 中間報告書案の検討
  - 農業関係出先機関、教育事務所改革、小中学校の規模の適正化
  - 使用料・手数料の見直し、収入未済額の縮減



# フラッシュ2007



▲保健福祉委員会 県内調査  
(鹿行地域)



▲保健福祉委員会 県内調査  
(県南地域)



▲財政再建等調査特別委員会 県外調査(京都)



▲保健福祉委員会 県内調査  
(県西地域)



▲保健福祉委員会 県内調査  
(県南地域)



▲保健福祉委員会 県内調査  
(鹿行地域)



▲自由民主党波崎中央支部総会

《2008年西条県議は下記委員会に所属し益々の活躍が期待されます》

- ・常任委員会 文教治安委員会 委員
- ・特別委員会 財政再建等調査特別委員会 副委員長
- ・その他の委員会 情報委員会 委員長

## 定例議会

- 1/19・1/22 臨時議会
- 2/28~3/22 第1回定例会
- 6/5~6/15 第2回定例会
- 9/5~9/27 第3回定例会
- 12/5~12/19 第4回定例会

## 常任委員会・特別委員会他

- 4/25 保健福祉委員会県内調査(鹿行地区)
- 5/11 財政再建等調査特別委員会
- 5/17 保健福祉委員会
- 5/24 財政再建等調査特別委員会
- 6/25~27 保健福祉委員会(沖縄県)
- 7/4 財政再建等調査特別委員会
- 7/30 財政再建等調査特別委員会
- 8/6 保健福祉委員会
- 9/4 財政再建等調査特別委員会
- 10/5 保健福祉委員会県内調査(土浦市)
- 10/18 保健福祉委員会
- 10/22 財政再建等調査特別委員会
- 11/5~6 財政再建等調査特別委員会 県外調査(大阪・京都)
- 11/19 保健福祉委員会県内調査(県西地区)
- 11/22 財政再建等調査特別委員会

## 自民党

- 2/22 茨城県連定期大会
- 5/26 波崎中央支部総会
- 5/26 神栖中央支部総会
- 6/23 茨城県第二選挙区支部定期大会
- 9/13 潮来支部設立総会

## 鹿島地域関連

- 1/25 鹿行南部県際地域における医療問題懇談会
- 1/27 保育を高める日研究会
- 2/20 JALおさい波崎青販部会40周年記念式典
- 3/23 鹿島臨海工業地帯開発協議会
- 3/29 鹿行南部県際地域における医療問題懇談会
- 6/10 かしま青年会議所 統合10周年記念式典
- 7/18 国道51号バイパス建設促進既成同盟会総会
- 9/6 神栖警察署誘致にかかる陳情活動
- 11/23 神栖市戦没者追悼式
- 11/29 鹿島地区農業委員研修会